

ミニギャラリー

今月の題字



熊野中学校 2年
小鳥田 有紗さん

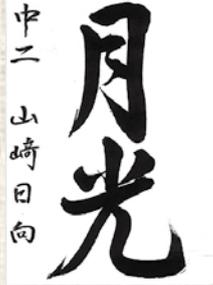
町の人口と世帯数

平成30年2月28日
(前年同月比較)



(住民基本台帳)

熊野中学校 2年 山崎 日向 さん



【評】筆の弾力を上手に使い、行書らしい、やわらかい線で書けています。また力を抜きながら、次の画につながるよう意識して丁寧に、はねています。

熊野中学校 1年 永谷 健人 さん



【評】この作品は、エビフライ、アジフライやハンバーグを紙粘土で制作した彫刻作品です。パン粉やエビやアジのしっほの細かい表現やレタスの薄い質感を表現しようと形や色彩をよく工夫をしている完成度の高い作品です。

熊野の自然 (355)

ニホンカナヘビ

(カナヘビ科)



トカゲやカナヘビの名は総称で、それぞれ多くの仲間がいます。広島県には、ニホントカゲとニホンカナヘビが広く分布し、熊野町でも全域に生育しています。ニホンカナヘビは細くスマートな体形で、尾が全長の2/3ほどと長いのが特徴です。体の鱗は光沢がなく、隆起があつてがさがさしています。ニホントカゲの鱗は光沢があり滑らかで、幼体の尾は青く目立ちます。トカゲのしっほ切りは、「自切」と言い自分で切り離しています。切られた尾は激しく動きます。敵の注意を尾に引き付け、その隙

に逃げる作戦です。尾は再生しますが、骨は再生しません。カナヘビやヤモリなども尾の「自切」を行います。カナヘビの名は、体の色が褐色で尾が長いので、かな(金属)色をした蛇という説や、蛇のように細長いのが、可愛いので愛蛇かなへびという説などがあります。北海道〜九州の低地〜山地に分布し庭先でも普通に見られます。全長16〜25cm。春〜夏にかけて、1匹の雌が1回に平均4個の卵を3回ほど土の窪みなどに産みます。卵は白色で長さ10〜13mm。約2カ月で孵化します。孵化直後の幼体の全長は5〜7cm。ほぼ1年で成熟します。昼間活動し、草の上も巧みに移動して、昆虫やクモなどを食べます。11月頃〜土中で越冬します。

【写真・文】

緑花文化士 富沢由美子

熊野町観光大使ふでりん 公式アカウント
facebook
LINE

防災無線放送再生ダイヤル
082-820-5640
(放送終了後24時間自動消去)

県内市町発!!

おすすめイベント
ピタコアップ

【三次もののけミュージアム開館】

三次市に、日本初の「妖怪博物館」が開館。三次市が舞台となった妖怪物語「稲生物怪録」と、約5千点の「妖怪コレクション」を中心に展示します。デジタルアミューズメント「チームラボ妖怪遊園地」もあり、妖怪の存在をより身近に感じることが出来ます。

時4月26日(金)午前9時半開館
所三次市三次町1691番地4
¥大人600円、高大学生400円、小・中学生200円
駐周辺施設の臨時駐車場
問三次市政策部三次地区
拠点施設開設準備担当
☎0824-62-61508



(地域振興課)